

ぎふと

gift
vol.01

ひと針ひと針、祈りを込めて、
たいせつな人への贈り物。



ゆらゆら揺れる、しあわせの飾り

つるしびな

つるしびなとは…

つるしびなとは江戸時代から続く、伝統的な風習のひとつです。「衣食住に困らないように」と祈りを込めて飾られるものです。人形として作られる対象には動物やお花、衣服、遊び道具や野菜など色々なものがあり、それぞれに異なる意味や由来があります。縁起物であるため、飾りの数は3、5、9などの奇数で構成され、割り切れる数字は避けています。





愛がこめられた伝統

つるしびなが始まったのは、江戸時代といわれています。その時代の裕福でない人々にとって、ひな人形はとても高価で、手に入りにくいものでした。生まれた子どものために母や祖母、叔母から近所の人たちまで、みんなで少しずつ布を持ち寄り小さな人形を作り、それらが集められてつるしびなができます。たくさんの人の祈りを込められて作られたつるしびなは子どものお守りとして、とても大切にされていました。



贈る想い、つなぐ伝統。

あなたが最近、たいせつな人へ贈りものをしたのはいつですか?つるしびなは、生まれた子どものための贈り物ですが、子どもも大人も関係なく、たいせつな人へ祈りを込めたつるしびなを贈るというのも素敵だと思います。部屋に飾られたつるしびなは生活の中で、人の温かさ、贈ってくれた人の想いを感じさせてくれます。つるしびなは、江戸時代から受け継がれてきた伝統的なものですが、近年その伝統は失われつつあります。日本の温かい伝統を一つ失わないためにも、もっと現代の人たちにつるしびなの良さを知ってほしいと思います。



つるしびなは、
風に当たればゆらゆらと揺れ、
光に当たれば赤くひかりを放ちます。



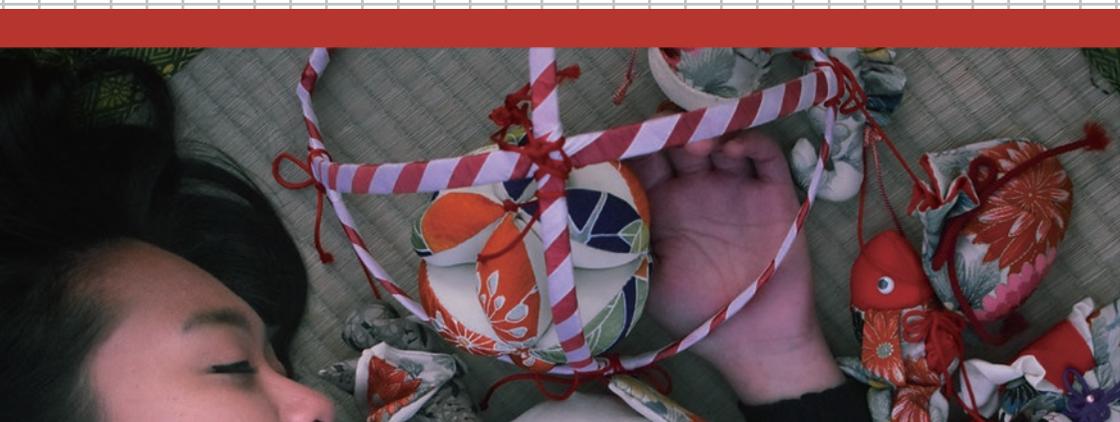
陽のあたたかさと、
誰かを想う気持ちのあたたかさは、
すこし似ている。







伝統的なものには、新しいものに劣らない魅力があります。
私は伝統に触れることで、疲れた心を癒すことができます。
つるしびなを飾る部屋の時間は、ゆったりと流れ少しの間、あなた
を隠してくれるはずです。







「あなたの生活が豊かになりますように」

ひと針ひと針、祈りを込めて。

つるしびなの由来

つるしびなのモチーフには、一つ一つに江戸時代から伝わる由来があります。地域によってもさまざまなモチーフや由来があり、祈りが込められています。その中でも、九つのモチーフを誰にでも贈ることができる由来のものをご紹介します。



えび

腰の曲がった老人の姿を海老に例え、長寿の願いが込められている。



おくるみにんぎょう

我が子を大切に包み、愛情豊かに育てていくという想いが込められ、赤ちゃんの幸せな将来を願って飾られる。



かざくるま

良い風向きに恵まれ、物事がうまく運びますように、との願いが込められている。



さる

さるにかけて、病が去る、災いが去るという意味が込められている。



せんす

せんすは、形から末広といわれ、末広がりに栄えるに通じる昔からの縁起物。



だるま

七転び八起きとして、福を招く縁起物。また、赤い色には魔よけの意味がある。



つる

つるは千年長生きすると伝えられ、長寿や健康への祈りが込められている。



ふくろう

森の知恵者といわれ、知恵に恵まれる。また、福々しい体で福を招きますようにという願いが込められている。



まり

丸々と円満にはずむ心豊かな暮らしへの願いが込められている。

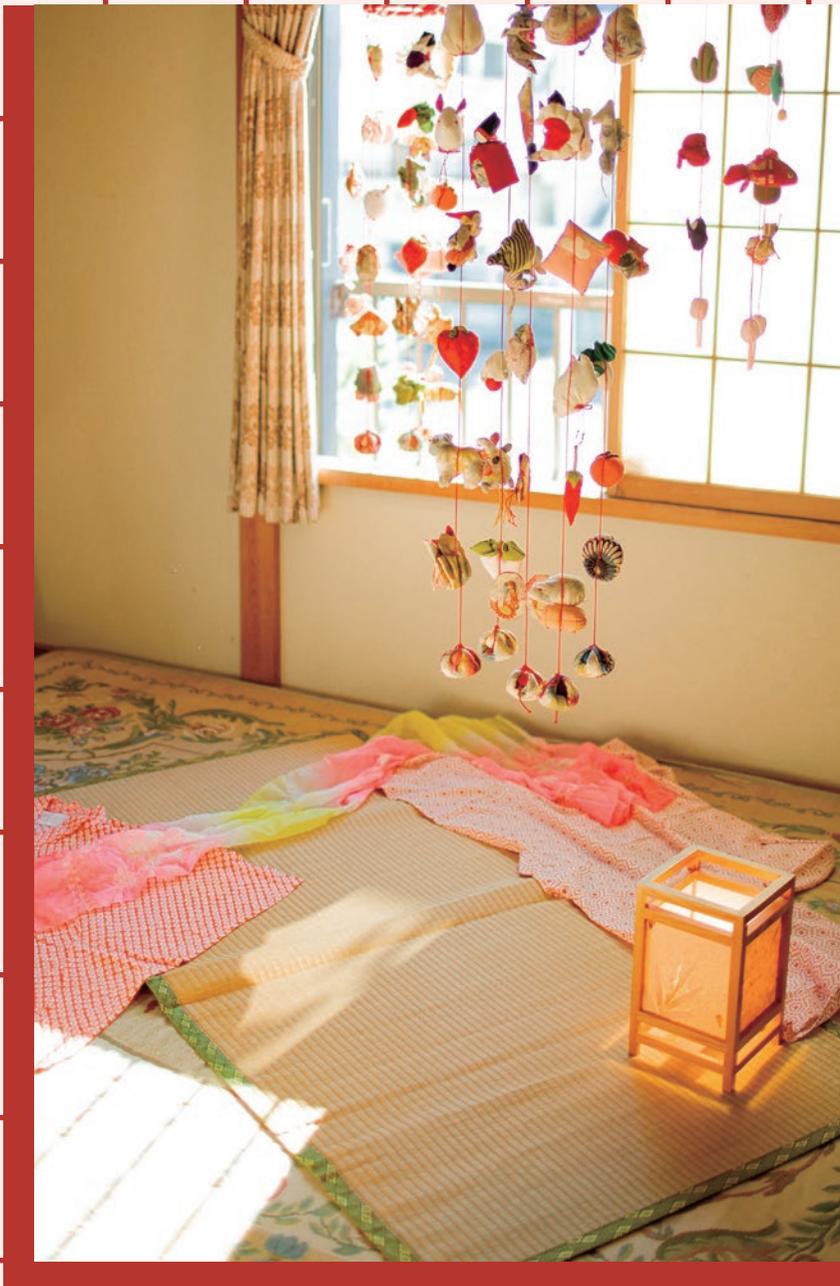


ぎふとについて

『ぎふと』は、たいせつな人への贈り物探しに寄り添いたいという
思いで創られました。毎月、ちょっと変わった贈り物を紹介します。
贈り物に込められた意味や、由来なども紹介するので、あなたの
贈り物探しに役立ててみてください。きっとあなたの気持ちを伝え
てくれる贈り物との、素敵な出会いがあると思います。



頑張る人のために、祈願。
また立ち上がるための赤いお守り。





太陽と気持ちの温かさ